



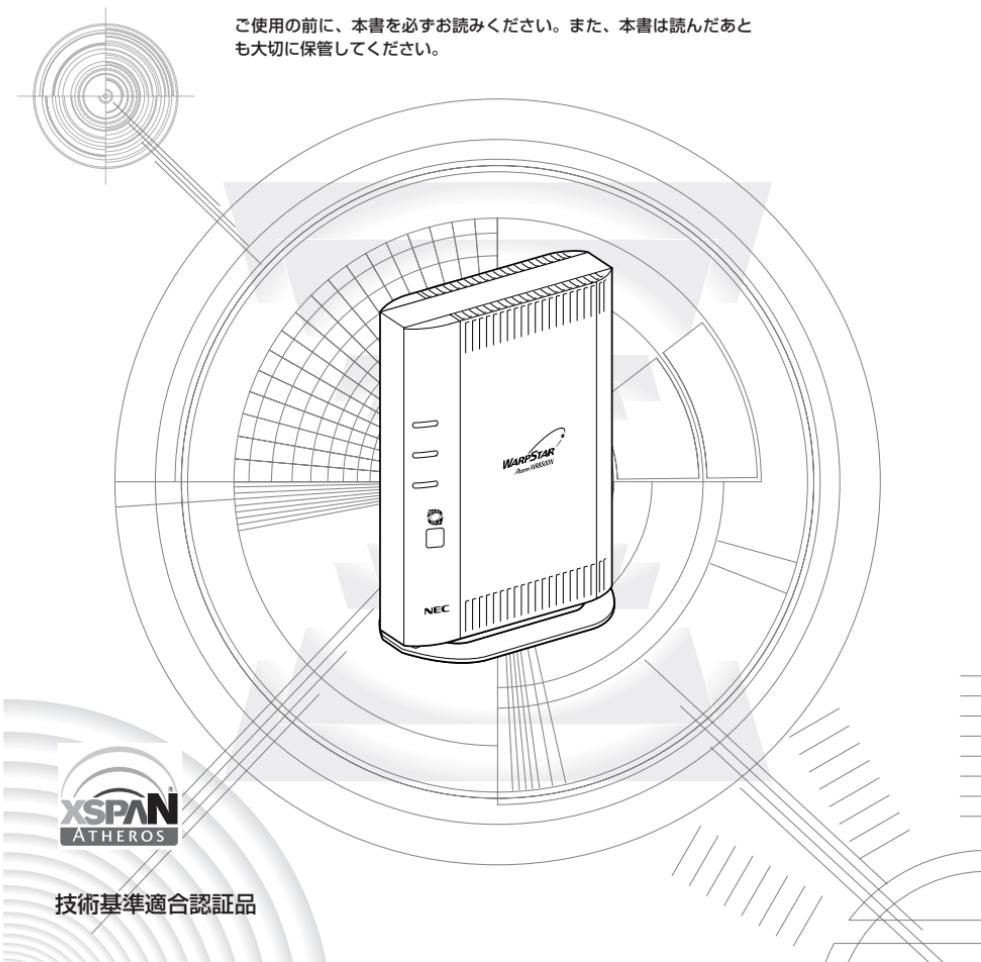
NEC

○○○ Aterm[®] WR8500N ○○○

無線LANご利用ガイド

〔第2版〕

ご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと
も大切に保管してください。



XSPAN
ATHEROS

技術基準適合認証品

はじめに

エターネム

『Aterm WR8500N』は、有線LANに接続してIEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。
ご利用いただける無線LAN端末（子機）の最新情報は、別紙に記載のホームページなどをご確認ください。



お知らせ

- ・本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
Aterm WR8500N (WARPSTARベース)	WR8500N（親機） または無線LANアクセスポイント（親機）

Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows、Windows Vista、Windows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® BusinessおよびWindows Vista® Ultimateの各日本語版かつ32ビット(x86)版の略です。

※本商品のWindows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capableロゴのついたパソコン、またはメーカーがWindows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows® 7は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise およびWindows® 7 Ultimate の各日本語版かつ32ビット(x86)版または64ビット(x64)版の略です。

※本商品のWindows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーがWindows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

AirMacは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Firefoxは、米国Mozilla Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Safariは、Apple Inc.の商標です。

Operaは、Opera Software ASAの商標または登録商標です。

“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Wii・ニンテンドーDS・ディーエス/DSは、任天堂の登録商標または商標です。

Xbox 360は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaScriptは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Atheros、XSPANのロゴは、Atheros Communications, Inc.の商標であり、NECアクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2009-2010、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2009-2010

日本電気株式会社、NECアクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください		3
1 はじめにお読みください	1-1
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 添付品を確認する	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
1-4 あらかじめ確認してください（パソコンをご利用の場合）	1-6
2 設置・接続	2-1
2-1 設置する	2-2
2-2 接続する	2-5
3 設定する	3-1
3-1 クイック設定Webで設定を行うには	3-2
3-2 無線のセキュリティ対策をする	3-5
3-3 クイック設定Webの設定画面について	3-14
4 無線LAN端末（子機）を接続する	4-1
4-1 無線LAN端末（子機）からの通信を確立する	4-2
4-2 ゲーム機などを接続する	4-31
5 お困りのときには	5-1
5-1 トラブルシューティング	5-2
5-2 初期化する	5-12
6 付録	6-1
6-1 製品仕様	6-2

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- ⚠ 警 告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注 意** :人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い** :本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

■ 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け

⚠ 警 告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。



また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。



！警 告

- ACアダプタおよび電源コードは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。 
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。 
- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。 
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。 
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。 

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 
 
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。 
 
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。 
 
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。 
 

！警 告

- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



⚠ 注意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。  
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。  
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。 
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。 
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。 
- 本商品は、垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。 

⚠ 注意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。  
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。  
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。 
- 本商品の使用中や使用直後、ACアダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。  

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。 
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。 
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。  

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。

STOP お願い

- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろの手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線LANに関する注意

- 最大300Mbps（規格値）や最大54Mbps（規格値）、最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 本商品は他社製IEEE802.11n準拠製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz帯域の屋外での使用は、電波法により禁止されています。

その他の注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがあります。構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりますして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN端末や無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

※装置初期状態では無線暗号化が設定されており、盗聴・不正侵入の危険を減らしております。無線暗号化なしの設定は上記のリスクが増大しますので、おやめください。

なお、セキュリティ対策についてはP3-5をご参照ください。

ワイヤレス機器の使用上の注意

■電波に関する注意事項

- 本商品は技術基準適合証明を受けています。
- 本商品は5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch (W52) と52,56,60,64ch (W53) と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。無線LANアクセスポイント（親機）としては、従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch (J52) の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g	W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch)、 W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)、 W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
IEEE802.11a	
W52 W53 W56	

無線LAN端末（子機）として利用する機器は、上記のマークがついたものを推奨します。

- W53 (52/56/60/64ch) またはW56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・ 各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。2.4GHz帯使用のBluetooth機器との通信はできません。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



2.4 :2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS方式およびOFDM方式を示す
4 :想定される干渉距離が40m以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

1

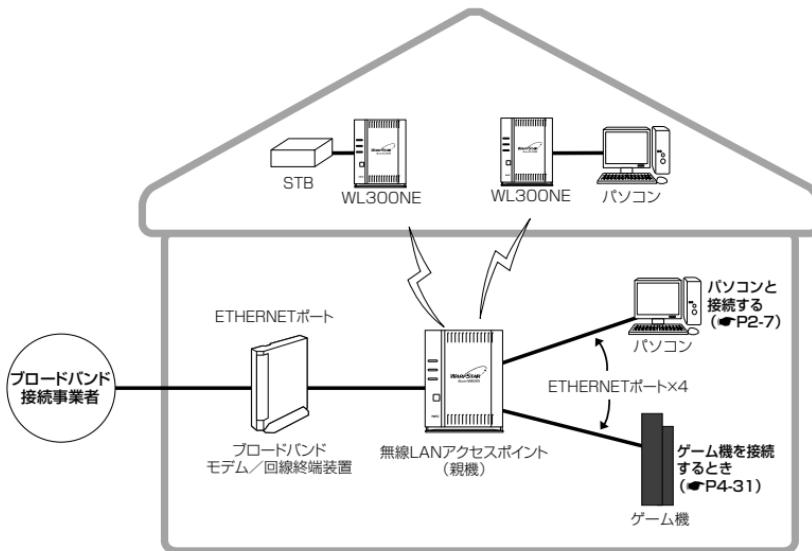
はじめにお読みください

1

本商品を設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

1-1	本商品でできること	1-2
1-2	添付品を確認する	1-3
1-3	各部の名前とはたらき	1-4
1-4	あらかじめ確認してください (パソコンをご利用の場合)	1-6

本商品は有線LANに接続してIEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g対応の無線LANのアクセスポイントとして使用することができます。

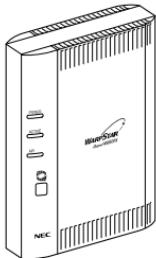
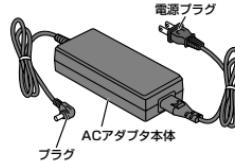
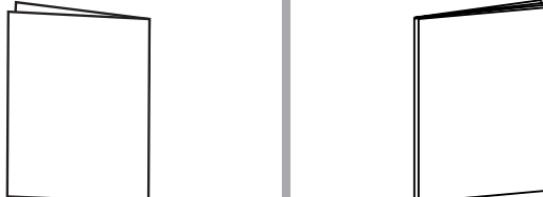


- ご利用いただける無線LAN端末（子機）についての最新情報は、別紙に記載のホームページをご確認ください。

1-2 添付品を確認する

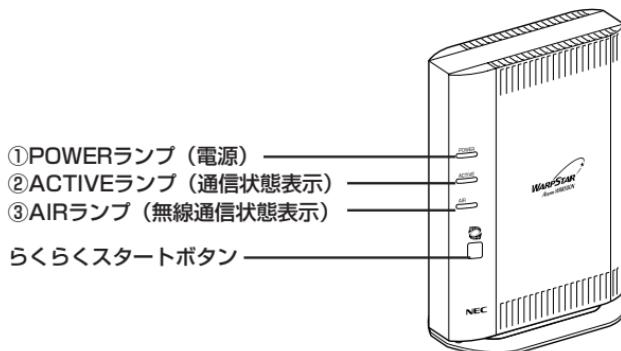
設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

●添付品

<input type="checkbox"/> WR8500N	<input type="checkbox"/> スタンド	<input type="checkbox"/> ACアダプタ
		 電源プラグ プラグ ACアダプタ本体
<input type="checkbox"/> イーサネットケーブル (カテゴリ5eストレート)	<input type="checkbox"/> 壁掛け用ネジ	
<input type="checkbox"/> つなぎかたガイド（別紙）	<input type="checkbox"/> 無線LANご利用ガイド（本書）	

1-3 各部の名前とはたらき

WR8500N (無線LANアクセスポイント (親機))



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
①POWERランプ (電源)	緑(点灯)	電源が入っているとき
	橙(点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	緑(点滅)／ 橙(点滅)	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	赤(点滅)	初期化準備状態のとき
	赤(点灯)	らくらく無線スタートで設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
②ACTIVEランプ (通信状態表示)	橙(点灯)	動作モードが無線LANアクセスポイントモードのとき
	橙(点滅)	IPアドレスを競合検出したとき (●P5-4)
	消灯	WAN側にIPアドレスが設定されていないとき
③AIRランプ (無線通信状態表示)	緑(点灯)	2.4GHzモードで通信可能なとき※1
	緑(速い点滅)	2.4GHzモードでデータ送受信しているとき※1
	橙(点灯)	5GHzモードで通信可能なとき※2
	橙(速い点滅)	5GHzモードでデータ送受信しているとき※2
	赤(点滅)	レーダー波をサーチしているとき
	消灯	無線LANを使用しないとき

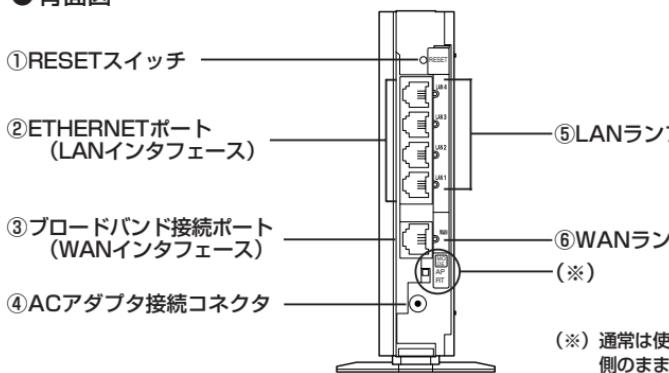
※1 2.4GHzモードはIEEE802.11g+b (+11n) モードです

※2 5GHzモードはIEEE802.11a (+11n) モードです

【設定ボタン】

名 称	説 明
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。

●背面図



名 称	説 明		
①RESETスイッチ	初期化するときに使用します。(P5-13)		
②ETHERNETポート (LANインターフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。		
③ブロードバンド接続ポート (WANインターフェース)	ブロードバンドモ뎀／回線終端装置との接続に使用します。		
④ACアダプタ接続 コネクタ	ACアダプタを接続します。		
⑤LANランプ	緑（点灯）	ETHERNETポートのリンクが確立しているとき	
	緑（点滅）	ETHERNETポートがデータ送受信しているとき	
	消灯	ETHERNETポートのリンクが確立していないとき	
⑥WANランプ	緑（点灯）	WANポートのリンクが確立しているとき	
	緑（点滅）	WANポートがデータ送受信しているとき	
	消灯	WANポートのリンクが確立していないとき	

パソコンなどの接続機器の確認

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・イーサネットポート (LANポート) を装備していること (本商品のETHERNETポートに有線で接続する場合)

お使いのパソコンにETHERNETポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードを取り付けておいてください。

- ・TCP/IPプロトコルスタックに対応していること

必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。

- ・パソコンのネットワークの設定を確認すること (☞P1-8)

- ・WWWブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (☞P1-10)

- ・ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止

本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止しない（起動したままでいる）と無線LANアクセスポイント（親機）の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）

停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

WWWブラウザのバージョンを確認する

本商品は、以下のWWWブラウザで設定できます。

＜設定できるWWWブラウザ＞

■Windows Vista®（Service Pack 1含む）の場合

Internet Explorer 7.0に対応

■Windows® 7の場合

Internet Explorer 8.0に対応

■Windows® XP (Service Pack 1～3含む) の場合

Internet Explorer 7.0に対応 (Windows® XP SP2の場合)

Internet Explorer 6.0 SP2に対応 (Windows® XP SP2の場合)

Firefox 1.5に対応

Opera 9.0に対応

■Windows® 2000 Professional (Service Pack 1～4含む) の場合

Internet Explorer 6.0 SP1に対応

Firefox 1.5に対応

Opera 9.0に対応

■Mac OS X v10.3/v10.4の場合

Safari 2.0に対応 (v10.4 Tigerの場合)

Safari 1.3に対応 (v10.3 Pantherの場合)

Firefox 1.5に対応

Opera 9.0に対応

■ゲーム系

PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応

※PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。

※PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角21文字です。

ニンテンドーDSブラウザーに対応

※指定以外のブラウザを使用する場合、表示・設定で正しく動作しない場合があります。
正しくご利用いただくためには指定のブラウザでご使用ください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IPアドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista®/Windows® 7 の場合

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする

※Windows® 7 の場合は、[ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックします。

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする

5 [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、
[プロパティ] をクリックする



6 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

7 [OK] をクリックする

8 [OK] または [閉じる] をクリックする



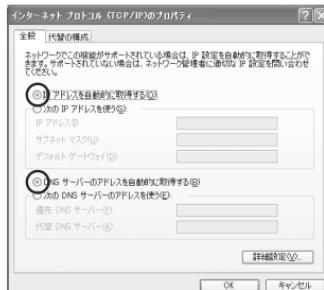
お知らせ

● Windows Vista®/Windows® 7 の設定により表示内容が異なる場合があります。

● ここでは、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

Windows® XPをご利用の場合

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする



お知らせ

- Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリの表示）を前提に記述しています。

WWWブラウザの設定確認

WWWブラウザ（Internet Explorerなど）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下はWindows Vista[®]でInternet Explorer 7.0をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

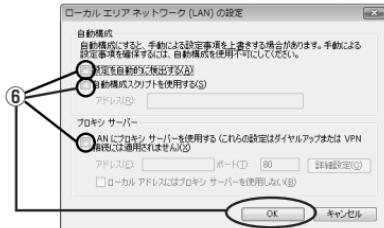
- ① Internet Explorerを起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。

※グレーアウトしている場合は、⑤へお進みください。



- ⑤ [LANの設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する] の□外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用のCD-ROMやパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品にLAN接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScriptの設定を確認する

WWWブラウザ（クリック設定Web）で設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。

※ WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows Vista® でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。なお、Windows® 7/XP/2000 Professionalで設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] (Windows® XP の場合は [クラシック表示に切り替える]) – [インターネットオプション] をダブルクリックする
※Windows® 7の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] をクリックします。
※Windows® 7 でInternet Explorer 8.0 をご利用の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] をクリックします。
※Windows® 2000 の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 3 [サイト] をクリックする
- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す

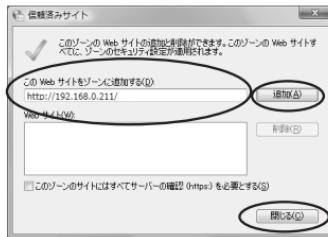


(次ページに続く)

5

【このWebサイトをゾーンに追加する】
に下記例のように本商品のIPアドレス
を入力し、【追加】をクリックして、
【閉じる】をクリックする

例：本商品のIPアドレスが「192.168.0.211」の場合
→「<http://192.168.0.211/>」と入
力する



※本商品のIPアドレスは、本商品が接続し
ているネットワークのアドレス体系
(☞P5-10) を使用して、末尾を「211」
にしたアドレスです。

例：P5-10で確認したアドレスが
「192.168.0.3」の場合
→「<http://192.168.0.211/>」と入
力する

※本商品のIPアドレスを変更した場合は、
設定したIPアドレスを入力してください。
※Internet Explorer 6.0をご使用の場合は、
【次のWebサイトをゾーンに追加する】
に本商品のIPアドレスを入力し、
【追加】をクリックして、【OK】をク
リックします。

6

【レベルのカスタマイズ】をクリックする

7

画面をスクロールし、【アクティブス
クリプト】を【有効にする】に変更
し、【OK】をクリックする



8

【OK】をクリックする

1-4 あらかじめ確認してください（パソコンをご利用の場合）

Windows® でFirefoxをご利用の場合

以下は、Windows® XPでFirefox 1.5を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professionalで設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

- 1 Firefoxを起動する
- 2 メニューバーの [ツール] – [オプション] をクリックする
- 3 [コンテンツ] をクリックする
- 4 [JavaScriptを有効にする] にチェックを入れる
- 5 [OK] をクリックする



Mac OSでSafariをご利用の場合

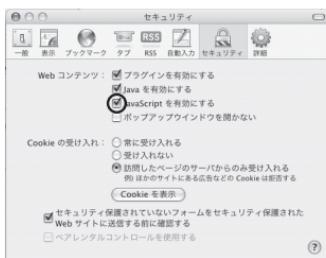
以下は、Mac OS X v10.4 TigerでSafari 2.0を使用している場合の例です。

1 Safariを起動する

2 メニューバーの [Safari] – [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScriptを有効にする] に
チェックを入れる



5 メニューバーの [Safari] から [Safariを終了] をクリックし、Safariを終了させる

2

設置・接続

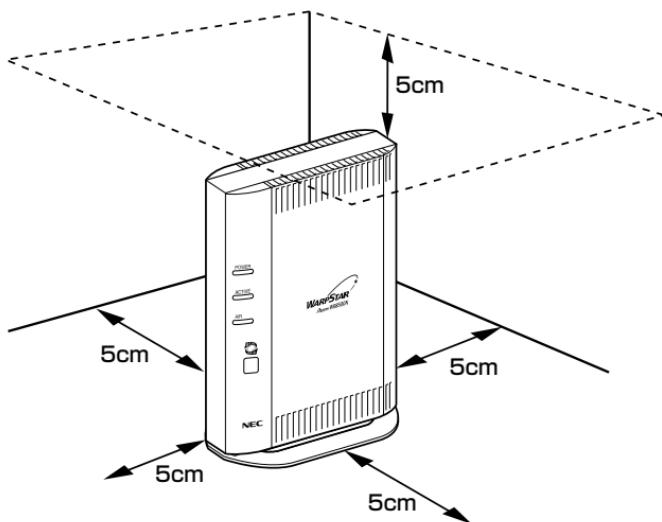
2

2-1	設置する	2-2
2-2	接続する	2-5

2-1 設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

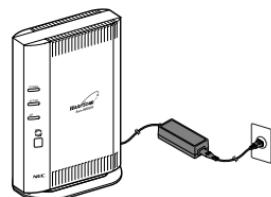
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



⚠ 警 告

ACアダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- 必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- ACアダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。

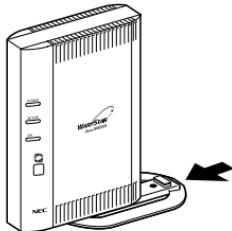


⚠ 注 意

- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上に物を置いたり、横置きや重ね置きはしないでください。

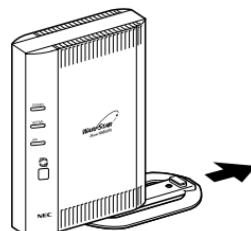
縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



スタンドを外す場合は

図のように、スタンドを本商品の背面側へスライドさせて、取り外してください

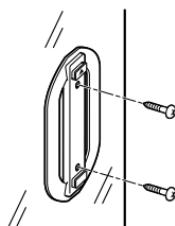


壁掛けの場合

1

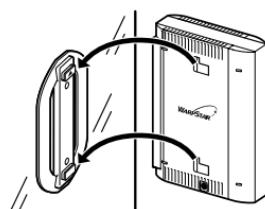
スタンド（添付品）を底面が壁側になるように壁掛け用ネジ（添付品）で取り付ける

※スタンドの▲マークが上になるように取り付けてください。



2

図のように取り付ける



●お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、装置取り付け時は確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本商品は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】



- 本商品の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

●お知らせ

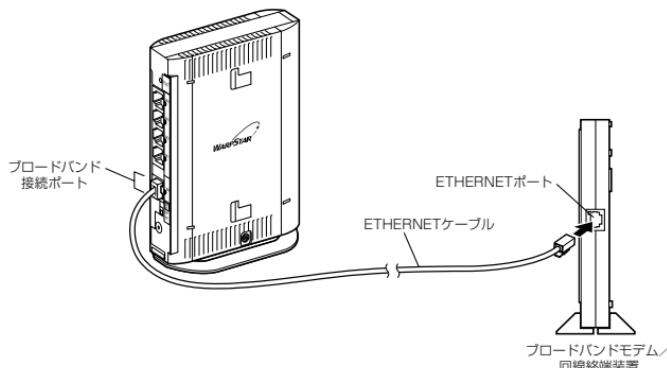
- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

2-2 接続する

ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続する

1 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を切る

2 本商品のブロードバンド接続ポートと、ブロードバンドモデム／回線終端装置のETHERNETポートをETHERNETケーブルで接続する

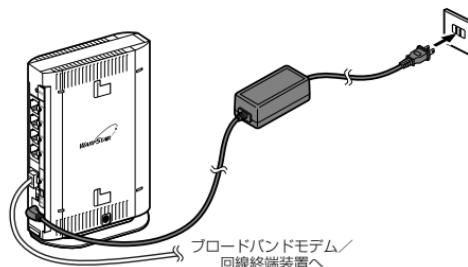


3 ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れる

4 ACアダプタのプラグを本商品に取り付ける

※ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは他の製品に使用しないでください。

5 ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに接続する



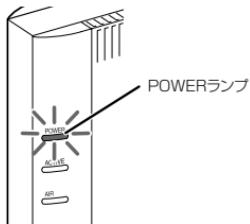
(次ページに続く)

2

設置・接続

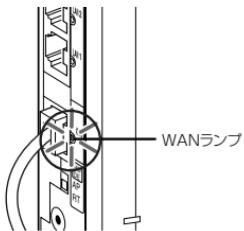
6

本商品前面のPOWERランプが緑点灯する



7

手順2で接続した本商品のブロードバンド接続ポートのWANランプが緑点灯する



パソコンなどと接続する

本商品に有線でパソコンなどを接続する場合は、以下の手順で接続します。

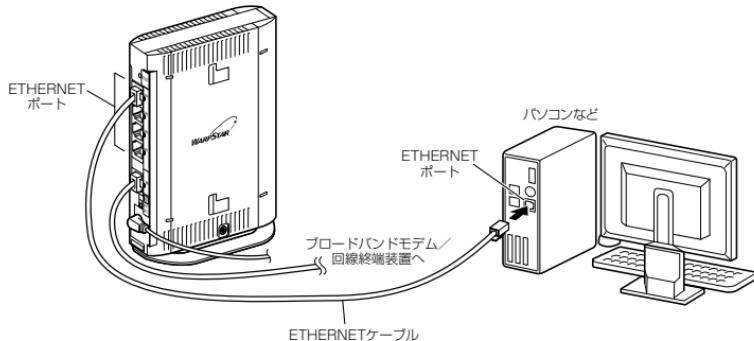
※本商品に無線でパソコンなどを接続する場合は、「4 無線LAN端末（子機）を接続する」(☞P4-1) を参照してください。

1 本商品の電源をいったん切る

ACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2 パソコンの電源を切る

3 本商品のETHERNETポートと、パソコンなどのETHERNETポートを ETHERNETケーブルで接続する

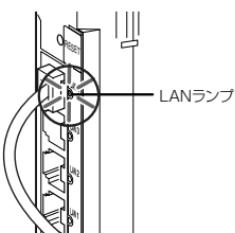


4 本商品の電源を入れる

ACアダプタの電源プラグを電源コンセントに接続してください。

5 パソコンの電源を入れる

6 手順3で接続した本商品のETHERNETポートのLANランプが緑点灯する



3

設定する

3

3-1	クイック設定Webで設定を行うには	3-2
3-2	無線のセキュリティ対策をする	3-5
3-3	クイック設定Webの設定画面について	3-14

3-1 クイック設定Webで設定を行うには

本商品の設定はクイック設定Webで行います。

クイック設定Webで設定を行うには、あらかじめ無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線LAN端末（子機）から設定を行う場合は、「4 無線LAN端末（子機）を接続する」（☞P4-1）を参照して無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

設定画面の詳細については、「クイック設定Webの設定画面について」（☞P3-14）を参照してください。



お知らせ

- クイック設定Webが利用できるWWWブラウザについては、「設定できるWWWブラウザ」（☞P1-7）を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
- クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。



お願い

- クイック設定Webが表示されない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。（☞P5-3）
- クイック設定Webで設定を変更した場合は、画面右下の「設定」をクリックすると有効になります。
装置に設定値を保存する場合は、画面左上の「保存」を必ずクリックしてください。
「保存」をクリックしないで電源を落とした場合には、設定値が失われますのでご注意ください。

クイック設定Webの起動のしかた

クイック設定Webで設定を行う場合は、次の手順で起動します。

※ 事前に、本商品とパソコンの電源が入っていることと、本商品とパソコンが有線または無線で接続されていることを確認してください。

① 本商品が接続しているネットワーク体系を確認して（●P5-10）控えておく

控え欄

② WWWブラウザを起動する

③ アドレス欄に本商品のIPアドレスを入力後、[Enter] キーを押してクイック設定Webを開く

※ 本商品のIPアドレスは、①で確認したアドレスの末尾を「211」にしたアドレスです。

例：①で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合

→ 「http://192.168.0.211/」と入力する

※ IPアドレスの競合などにより、本商品のIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。

例：本商品のIPアドレスを「192.168.1.100」に設定している場合

→ 「http://192.168.1.100/」と入力する

④ 次の画面が表示された場合は、管理者パスワードの初期設定を行う

※ 画面にしたがって任意の文字列を入力してください。

※ この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



● 管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄

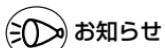
⑤ ユーザー名とパスワードを入力する

※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには④で控えた管理者パスワードを入力してください。



⑥ [OK] をクリックする

⑦ クイック設定Web画面が表示される



- ACTIVEランプが橙点滅している場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスが他の機器と競合しています。
「トラブルシューティング」の「ACTIVEランプが橙点滅している」(☞P5-4) を参照して本商品のIPアドレスを変更してください。

ポップアップヘルプについて

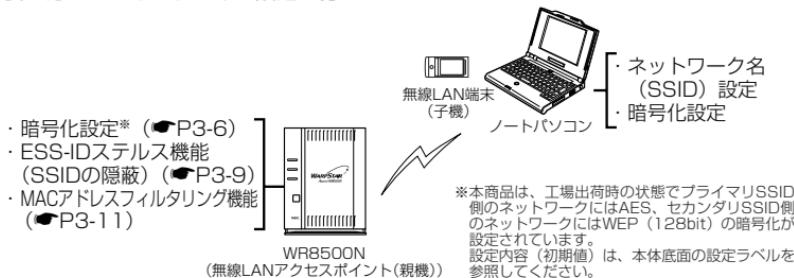
クイック設定Webを開くと、各項目に[?]のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。



3-2 無線のセキュリティ対策をする

本商品は、他の無線LANパソコンから本商品や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、ESS-IDステルス機能、無線暗号化機能、MACアドレスセキュリティ機能を搭載しています。無線LAN端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線LAN端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。

必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



セキュリティ対策を行うことの重要性について

無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。

無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為など行われる危険性があります。



マルチSSIDについて

本商品では2つのネットワーク名（SSID）、プライマリ／セカンダリが利用可能です。それぞれのネットワーク名（SSID）に対して、異なるセキュリティ設定（暗号化機能、ESS-IDステルス機能、MACアドレスフィルタリング機能）ができます。

プライマリSSID

（初期値：本商品底面のラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」、WARPSTAR-xxxxxx）

暗号化方式としてWEP、TKIP、AESが利用可能。（初期値はAES）

AESが設定されている場合、IEEE802.11nによる高速通信が利用可能。

セカンダリSSID

（初期値：本商品底面のラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W）

暗号化方式としてWEPのみ利用可能。（初期値は128bitWEP）

IEEE802.11nによる高速通信は利用不可。

- 両SSIDは同時に動作しているため、AESを利用可能な無線LAN端末（子機）と、ニンテンドーDSなどWEPのみが利用可能な無線LAN端末（子機）が共存可能です。
- らくらく無線スタート利用時には、無線LAN端末（子機）の無線LAN規格に応じて、どちらのSSIDに接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2つのSSIDの存在を意識していただく必要はありません。
- 両SSIDは、同じ周波数帯（2.4GHz、または5GHz）でしか使用できません。ニンテンドーDSやPSP「プレイステーション・ポータブル」などのIEEE802.11b対応機器をセカンダリSSIDで使用する場合は、「無線LAN設定」-「無線LAN設定」でプライマリSSIDも2.4GHzを使用するよう設定してください。
- 携帯ゲーム機など、802.11b対応の無線LAN端末（子機）をご利用にならない場合には、セカンダリSSIDの使用を停止することでセキュリティを高めることができます。

無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

●WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11で定められた暗号化方式。

●TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。

パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。

●AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。

WEPやTKIPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。



- 暗号化の設定は必ず無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で同じ設定にしてください。（●P3-7、4-7、4-13、4-20、4-24）
- 暗号化キーは無線アクセスポイント（親機）の2つのネットワーク（プライマリSSID・セカンダリSSID）それぞれにつき1つだけ使用します。1つのネットワーク内の無線LAN端末（子機）は、すべて同じ暗号化キーを設定してください。
- 本商品を初期化した場合は、プライマリSSIDの場合はAES、セカンダリSSIDの場合はWEP（128bit）（キーインデックス：1番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キーの内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、それぞれの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末（子機）が必要です。

暗号化の設定（無線LANアクセスポイント（親機））

無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化の設定は、クリック設定Webで行います。なお、工場出荷時の状態では、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されている内容ですでに暗号化の設定がされています。

1 クリック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「無線LAN設定」の【無線LAN設定】を選択する

3 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名（SSID）を選択し、[選択]をクリックする

4 [暗号化]の項目で設定する

■暗号化モードで[WPA-PSK (TKIP)]、または[WPA-PSK (AES)]を使用する場合

① [暗号化モード]で[WPA-PSK (TKIP)]、または[WPA-PSK (AES)]を選択する
※IEEE802.11nでは、[WPA-PSK (TKIP)]は使用できません。

② [WPA暗号化キー]を入力する
暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号、または、64桁の16進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次の通り

です。

【8~63桁の場合】

英数記号（0~9、a~z、A~Z、下記の記号）

!	%)	-	:]	{	"
&	*	.	<	@	^		#
'	+	/	=	[_	}	\$
(.	:	>	\	'	-	

※「¥」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数（0~9、a~f、A~F）

③ [暗号化キー更新間隔]で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0（更新なし）、1~1440分の間で設定できます。

3 設定する



(次ページに続く)

■暗号化モードでWEPを使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
※IEEE802.11nでは、WEPはご利用になれません。
- ② 暗号強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」(弱) < 「128bit」 < 「152bit」(強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ [指定方法] から暗号化キーの種類を【英数字】または【16進】のどちらかを選択する
※【英数字】 → 英数字 (0~9, a~z, A~Z) の組み合わせで暗号を作成します。
【16進】 → 16進 (0~9, a~f, A~F) の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
- ④ [使用する暗号化キー番号] を1番~4番で選択する
- ⑤ 指定した番号 (1番~4番) に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

[設定] をクリックする

[保存] をクリックする

5
6



ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定する

無線LAN機器が、通信するお互いを識別するIDとしてネットワーク名（SSIDとも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。

一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、この機能を設定すると、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

これにより、あらかじめ本商品のネットワーク名（SSID）を知っている無線LAN端末（子機）以外からの接続を制限することができます。

※本商品独自の機能です。Aterm以外の無線LAN端末（子機）では、接続できない場合があります。

1 クイック設定Webを起動する（☞P3-3）

2 「無線LAN設定」の【無線LAN設定】を選択する

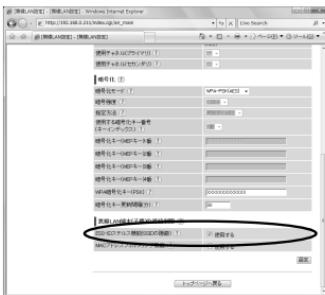
3 「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名（SSID）を選択し、【選択】をクリックする

4 【ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）】を【使用する】に☑する

5 【設定】をクリックする

3

設定する



(次ページに続く)

6

【OK】をクリックする



7

【保存】をクリックする

MACアドレスフィルタリング機能

MACアドレスが登録された無線LAN端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MACアドレスが登録されていない無線LAN端末（子機）からLANやインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「無線LAN設定」の【MACアドレスフィルタリング】を選択する

3 【追加】をクリックする

4 【接続を許可するMACアドレスエントリ追加】欄で設定する

①指定方法を選択する

手動設定：MACアドレスに直接無線接続を許可する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力します。

選択設定：MACアドレス（アクセス履歴）から選択し設定をします。

②手動設定の場合は、登録する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを入力する

MACアドレスは2文字ずつコロンで区切って入力してください。

例) MACアドレスがxx-xx-xx-xx-xx-xxの場合は、xx:xx:xx:xx:xxと入力します。

無線LAN端末（子機）のMACアドレスは無線LAN端末（子機）に記載されています。

選択設定の場合は、「アクセス履歴」から設定する無線LAN端末（子機）のMACアドレスを選択します。

5 【設定】をクリックする

続けて追加設定する場合は、「前のページへ戻る】 - 【追加】をクリックして手順4にもどり、追加設定してください。



3
設定する

6

「無線LAN設定」の【無線LAN設定】を選択する

7

「対象ネットワークを選択」の▼で設定するネットワーク名(SSID)を選択し、【選択】をクリックする

8

【MACアドレスフィルタリング機能】を【使用する】にする



9

【OK】をクリックする



10

【設定】をクリックする

11

【保存】をクリックする



WL300NE/WL54SEを使用している場合

無線LANアクセスポイント（親機）でMACアドレスによる接続制限（MACアドレスフィルタリング）を行う場合、WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードによって次のように設定してください。

＜WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合＞WL300NE/WL54SEの底面に記載されている無線のMACアドレスを登録することで無線接続するWL300NE/WL54SEを制限できます。

＜WL300NE/WL54SEの無線クライアントモードがMACクローンモードの場合＞WL300NE/WL54SEの底面に記載されている無線のMACアドレスとWL300NE/WL54SEに接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスをすべて登録してください。

→WL300NE/WL54SEでは接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末のMACアドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時はMACアドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MACアドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL300NE/WL54SEに接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。（WL300NE/WL54SEの電源を入れたときにMACアドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）

なお、MACアドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MACアドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。



WL54TEを使用している場合

無線LANアクセスポイント（親機）でMACアドレスによる接続制限（MACアドレスフィルタリング）を行う場合、WL54TEのクローンモードによって次のように設定してください。

※WL54TEは、最新のファームウェアに更新してご利用ください。

＜WL54TEのクローンモードが「WL54TE」の場合＞

WL54TEの側面に記載されている無線のMACアドレスを登録することで無線接続するWL54TEを制限できます。

＜WL54TEのクローンモードが「PC」の場合＞

WL54TEの側面に記載されている無線のMACアドレスとWL54TEに接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスをすべて登録してください。

→WL54TEでは接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末のMACアドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時はMACアドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MACアドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、WL54TEに接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。

（WL54TEの電源を入れたときにMACアドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）なお、MACアドレスフィルタに登録済みの端末が最初にアクセスすると、MACアドレスフィルタに未登録の端末でも無線接続できてしまいます。

3-3 クイック設定Webの設定画面について

ここではクイック設定Webのそれぞれの設定画面について説明しています。

クイック設定Webの起動のしかたは、P3-3を参照してください。

※お使いのWWWブラウザによっては表示される画面が異なる場合があります。



設定の保存のしかた

それぞれのページで【設定】をクリックしたあと、【保存】をクリックすることにより設定内容を本商品に書き込みます。

【基本設定】

■ 基本設定



【IPアドレス／ネットマスク】

IPアドレス自動補正機能：

本商品が接続しているネットワークアドレスを検出し、適切なIPアドレスを自動生成します。

本機能は/24 (255.255.255.0) のネットワークでIPアドレスの自動生成が可能です。

(初期値：使用する)

IPアドレス／ネットマスク（ビット指定）：

本商品のIPアドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、他の機器のIPアドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。

ネットマスクはビット数形式で入力してください。入力できる値は、1~30です。たとえば、[255.255.255.0] 形式のネットマスクは「24」と入力します。

〈ご注意〉

- ・本項目の変更によって、通信条件が即時に変わり、通信が途切れる場合があります。このような場合は、接続する端末と本商品の設定をあわせて、再接続してください。

[WAN側インターフェース]**Ethernet設定：**

伝送速度、および、伝送モードを「自動設定、100Mbps/全二重、100Mbps/半二重、10Mbps/全二重、10Mbps/半二重」から選択します。通常、「自動設定」で使用します。

本商品のWANと書かれているポートに対して、設定変更が有効になります。

※1000BASE-Tで使用する場合は、「自動設定」を選択してください。

・自動設定

WAN側の伝送速度/伝送モードを自動で設定します。

・100Mbps/全二重

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

・100Mbps/半二重

WAN側の伝送速度を100Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

・10Mbps/全二重

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを全二重に設定します。

・10Mbps/半二重

WAN側の伝送速度を10Mbps、伝送モードを半二重に設定します。

(初期値：自動設定)

【詳細設定】

■無線LAN設定

無線LANの基本設定を行います。

【高度な設定を表示】をクリックすると、下の画面が表示されます。

(標準設定に戻す場合は【標準設定に戻る】をクリックします。)



対象ネットワークを選択

本商品では2つのネットワーク名（SSID）、プライマリSSID／セカンダリSSIDが利用可能です。それぞれのネットワーク名（SSID）に対して、異なるセキュリティ設定（暗号化機能、ESS-IDステルス機能、MACアドレスフィルタリング機能）ができます。設定を行うネットワーク名（SSID）を選択してください。

【無線LANアクセスポイント（親機）設定】

無線LANアクセスポイント（親機）に関する設定を行います。

無線機能：

無線LANを使用する場合は、チェックをします。無線LANを利用しない場合は「使用する」のチェックを外してください。本商品の電波が停止され、無線LANが無効となります。

（初期値：使用する）

〈ご注意〉

- ・セカンダリSSID機能を停止した状態で、802.11b対応の無線LAN端末（子機）のらくらく無線スタートを実行した場合、無線LAN端末（子機）側にセカンダリSSIDの無線情報が設定されますが、セカンダリSSIDが無効になっているため無線LANは使用できません。この場合、セカンダリSSIDを「使用する」に設定してください。

ネットワーク名（SSID）：

- ・プライマリSSID

（初期値：本商品底面のラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」、WARPSTAR-xxxxxx）

- ・セカンダリSSID

（初期値：本商品底面のラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W）

無線LANのネットワーク名（SSID）を入力します。半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）を使用して32文字以内で入力してください。

無線動作モード：

無線LANの動作モードを設定します。「自動」／「標準（2.4GHz）」／「標準（5GHz）」から選択します。

（初期値：自動）

- ・自動

オートチャネルによる自動設定が可能なモードです。

- ・標準（2.4GHz）

IEEE802.11nに加え、既存のIEEE802.11b/11gからの通信が可能なモードです。

- ・標準（5GHz）

IEEE802.11nおよび既存のIEEE802.11aからの通信が可能なモードです。

デュアルチャネル機能：

デュアルチャネル機能を使用する場合は、使用するにチェックします。20MHzバンドの通信チャネルを2本束ねて利用し、40MHzバンドでの高速通信を行います。なお、デュアルチャネルに対応していない無線LAN端末（子機）との通信は20MHzバンドの通信となります。

（初期値：使用する）

〈ご注意〉

- ・ご利用環境によっては、HT40/HT20モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを使用するに設定しても、HT20で接続される場合があります。

サーチ対象帯域：

無線動作モードを「自動」に設定した場合、オートチャネルによりサーチする通信モードを選択します。

収容する無線LAN端末（子機）のモードに合わせて設定してください。特に2.4GHzのみに対応している無線LAN端末（子機）を1台でも収容する場合は、初期値のままご利用ください。

（初期値：2.4GHz）

使用チャネル（プライマリ）：

無線LANで使用するチャネル（プライマリ）を選択します。

無線動作モードを「標準（2.4GHz）」/「標準（5GHz）」に設定した場合に有効になります。複数のアクセスポイントが設置されている環境など電波干渉がある場合には、使用する無線チャネル番号を変更してください。またデュアルチャネル機能を利用する場合には、選択可能チャネルは、デュアルチャネルで指定可能なチャネルに変更されます。

無線動作モード	タイプ	チャネル
・2.4GHzの場合	－	1～13の間で設定できます。 ※「デュアルチャネル機能」で「使用する」にチェックした場合は1～7の間での設定となります。
・5GHzの場合	W52	36, 40, 44, 48ch 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) ※「デュアルチャネル機能」で「使用する」にチェックした場合は、36, 44ch
	W53	52, 56, 60, 64ch 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) 2005年5月以降、利用可能となったチャネル
	W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch 5.6GHz帯 (5470-5725MHz) 2007年1月以降、利用可能となった11チャネル

使用チャネル（セカンダリ）：

無線LANで使用するチャネル（セカンダリ）を選択します。

無線動作モードを「標準（5GHz）」かつ、使用チャネル（プライマリ）に5.3GHz/5.6GHz（W53/W56）のいずれかのチャネルを設定した場合に有効になります。

5.3GHz/5.6GHz（W53/W56）チャネル利用時にレーダーを検出した場合の移動先チャネル（セカンダリ）を指定します。

	チャネル
使用チャネル（プライマリ）でW53を選択した場合	36, 40, 44, 48ch W53 (52, 56, 60, 64ch) の空きチャネル
使用チャネル（プライマリ）でW56を選択した場合	W56 (100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch) の空きチャネル

【暗号化】

暗号化に関する設定を行います。
設定方法は、P3-7を参照してください。

暗号化モード：

暗号化モードを選択します。暗号化モードを設定すると無線LANでの送受信データが暗号化され、第三者に傍受されにくくなります。(セカンダリSSIDの場合は、暗号化無効かWEPのみ選択できます。)

(初期値：プライマリSSIDではWPA-PSK (AES)、セカンダリSSIDではWEP)

- ・暗号化無効
- ・WEP (※)
- ・WPA-PSK(TKIP) (※)
- ・WPA-PSK(AES)

(※) IEEE802.11nでは、WEPとWPA-PSK (TKIP) は使用できません。

暗号強度：

WEPを利用する場合の暗号強度を選択します。

64bit<128bit<152bitの順で解読されにくくなりますが、本商品と通信する無線LAN端末も同じ暗号強度に対応している必要があります。暗号化キー1～4番は、すべて同じ暗号強度になります。

(初期値：暗号化モードがWEPの場合「128bit」)

※WEP (152bit) は、Windows Vista®/Windows® 7ではご利用になれません。

指定方法：

WEPを利用する場合の暗号化キーの指定方法を選択します。英数字 (0～9、a～z、A～Zで構成される文字列)、または、16進 (0～9、a～f、A～Fで構成される文字列) から選択してください。本商品と通信する無線LAN端末も同じ指定方法で設定する必要があります。暗号化キー1～4番は、すべて同じ指定方法になります。

(初期値：暗号化モードがWEPの場合「英数字 (13桁)」)

使用する暗号化キー番号 (キーインデックス)：

WEPを利用する場合に、1～4番のどの暗号化キーを使用するかを設定します。

(初期値：暗号化モードがWEPの場合「1番」)

暗号化キー (WEPキー) 1～4番：

WEPを利用する場合の暗号化キーは、4種類登録できます。

[指定方法] で選んだ文字列を【暗号強度】で設定した桁数分、暗号化キー (WEPキー) として入力します。

文字の種類は、英数字を選択した場合は、0～9、a～z、A～Zで構成される文字、16進数を選択した場合は、0～9、a～f、A～Fで構成される文字を指定します。

WPA暗号化キー（PSK）：

暗号化モードとして「WPA-PSK (TKIP)」または「WPA-PSK (AES)」を利用する場合の暗号化キーを入力します。

※暗号化を行うときは、接続されている無線LAN端末（子機）に、無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを設定してください。

※WPA-PSK (TKIP) /WPA-PSK (AES) 使用時は8~63桁の英数記号または64桁の16進数を入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は以下の通りです。

【8~63桁の場合】

英数記号（0~9、a~z、A~Z、下記の記号）

!	%)	-	:]	{	"
&	*	.	<	@	^		#
'	+	/	=	[_	}	\$
(,	:	>	\	-		

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数（0~9、a~f、A~F）

（初期値：本商品底面ラベルに記載の暗号化キー13桁）

暗号化キー更新間隔（分）：

暗号化キーの更新間隔（分）を入力します。WPAでは、暗号化キーは一定期間ごとに自動的に更新されて、より安全な状態を保ちます。入力できる値は、0（更新なし）、1~1440分です。

（初期値：30（分））

【無線LAN端末（子機）の接続制限】

無線LAN端末（子機）からの接続を制限する設定を行います。

ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）：

無線LAN端末（子機）から無線LANアクセスポイント（親機）を検索したときに本商品のネットワーク名（SSID）が見えないようにする場合は、チェックをします。あらかじめ本商品のネットワーク名（SSID）を知っている無線LAN端末（子機）以外からの本商品への接続を制限できます。（☞P3-9）

（初期値：使用しない）

MACアドレスフィルタリング機能：

本商品に設定されているMACアドレスを持つ無線LAN端末（子機）以外から本商品への無線LAN接続を制限する場合は、チェックをします。MACアドレスフィルタリング機能を使用する場合は、別途「無線LAN設定」-「MACアドレスフィルタリング」画面で無線LAN端末のMACアドレスを設定しておく必要があります。（☞P3-11）

（初期値：使用しない）

〈ご注意〉

- ・ MACアドレスフィルタリング機能を有効にした状態でらくらく無線スタートすると、エントリが追加されます。

[拡張設定]

拡張設定を行います。

送信出力：

無線LANの送信出力を選択します。

送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。

(初期値：100%)

下記の4つの出力から選択してください。

- ・ 100%
- ・ 50%
- ・ 25%
- ・ 12.5%

プロテクション機能：

無線LAN端末（子機）との通信にRTS/CTSフロー制御を行う場合に有効にします。接続する無線LAN端末（子機）が少ない場合や、周囲に他の無線LANアクセスポイント（親機）が存在しない場合には「使用しない」に設定してください。他の無線LAN端末（子機）が多い場合や、他の無線LANアクセスポイント（親機）が存在する場合には「使用する」を選択することにより、無線LAN通信速度が向上する場合があります。

(初期値：使用しない)

無線優先制御機能：

無線LAN通信の優先制御機能を有効にします。WMM (Wi-Fi Multimedia) 方式に、原則として準拠した機能です。

(初期値：使用する)

〈ご注意〉

- ・ 無線優先制御機能を使用しない場合、IEEE802.11nは使用できません。

IPv6マルチキャスト：

IPv6マルチキャストパケットの取扱方法を設定します。

利用するには【マルチキャスト伝送速度（Mbps）】の設定値を変更する必要があります。

(初期値：ストリーミングのみ転送しない)

- ・ ストリーミングのみ転送しない

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを、無線LANでは利用しない場合に選択します。

- ・ すべて転送する

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを、無線LANで利用する場合に選択します。

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを無線でご利用になりたい場合

IPv6マルチキャストストリーミングサービスを無線でご利用になる場合には、マルチキャスト帯域拡張機能を使用して、マルチキャストの速度を変更してご利用ください。

例：6Mbpsのテレビサービスをご利用の場合は、8.4Mbps以上の設定を行ってください。（設定は12Mbpsになります。）

●テレビサービスをご利用になる場合は、標準（5GHz）（802.11a）でのご利用を推奨します。（ご利用環境によっては標準（2.4GHz）で視聴できない場合があります）

●無線LAN端末（子機）は、プライマリSSIDでご利用ください。その場合セカンダリSSIDのIPv6マルチキャストを「ストリーミングのみ転送しない」に設定してください。

マルチキャスト伝送速度（Mbps）：

無線LANのマルチキャストを伝送する速度を指定します。マルチキャストストリーミングサービスを利用する場合には、伝送速度の値を変更する（上げる）必要があります。ご利用になるストリーミングサービスの伝送速度に合わせて本設定値も変更してください。

（2.4GHz） 1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54

（5GHz） 6/9/12/18/24/36/48/54

DTIM（回）：

無線LANのDTIM値を設定します。

Beaconに含めるDTIMの間隔を入力します。DTIM値の間隔はパワーセーブモードの無線LAN端末（子機）の動作に影響します。通常は、初期値のままで使用してください。入力できる値は、1～10回です。

本設定はプライマリSSID側に有効です。

（初期値：1）



お知らせ

●他社製IEEE802.11n対応無線LANカードとの接続は保証しておりません。

■MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリングの設定を行います。

詳細については、P3-11を参照してください。

【メンテナンス】

■管理者パスワードの変更

管理者パスワードの設定を行います。



1

クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2

【メンテナンス】 – 【管理者パスワードの変更】を選択する

3

【現在のパスワード】に、現在設定されているパスワードを入力する

4

【新しいパスワード】に、新しく設定するパスワードを入力する

5

【新しいパスワード再入力】に、手順2で入力したパスワードを再度入力する

6

【設定】をクリックする

7

【保存】をクリックする



お知らせ

- パスワードがわからなくなってしまった場合は、本商品を初期化してください。(☞P5-12)
なお、初期化すると、すべての値が工場出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。

■設定値の保存＆復元



【設定値の保存】

ファイルへ保存：

本商品に設定した内容を保存することができます。

本商品を初期化する (■P5-12) 前に保存しておくと、初期化後、簡単に設定内容を復元できます。

※パソコンのOSやWWWブラウザによって操作方法が変わります。

【設定値の復元】

上記で保存した設定内容を復元します。

復元方法は下記の通りです。

- ① [参照] をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する
- ② [開く] をクリックする
- ③ [設定値の復元] をクリックする
- ④ [OK] をクリックする
- ⑤ 画面の指示にしたがって本商品を再起動する



お知らせ

- 管理者パスワードは、保存されません。
- 設定値を復元するときは、他の機種のバックアップファイルを指定しないでください。
正しく復元できません。

■設定値の初期化

本商品の設定値を初期化します。

詳細については、P5-12を参照してください。

■ファームウェア更新

次の手順で、本商品のファームウェアを最新にバージョンアップできます。



- 1 最新のファームウェアをサポートページからダウンロードする
ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。
- 2 [参照] をクリックする
- 3 ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する
- 4 [更新] をクリックする
- 5 [OK] をクリックする
- 6 しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される
※バージョンアップの途中で電源を切らないでください。
- 7 [OK] をクリックする

■再起動

本商品の再起動を行います。

本商品の再起動を行う場合は、[再起動] をクリックしてください。



お知らせ

●現在の設定を保存してから再起動してください。

設定を変更した場合は、再起動を行う前に設定を保存しないと設定内容が失われます。

【情報】

■現在の状態



【装置情報】

装置名 :

本商品の装置名を表示します。

ファームウェアバージョン :

本商品で使用するファームウェアのバージョンを表示します。

MACアドレス :

本商品で使用するMACアドレスを表示します。

【無線情報（WARPSTAR-xxxxxx）】

無線動作モード：

プライマリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル：

プライマリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名（SSID）：

プライマリSSIDのネットワーク名（SSID）を表示します。

MACアドレス（無線）：

無線のMACアドレスを表示します。

【無線情報（WARPSTAR-xxxxxx-W）】

無線動作モード：

セカンダリSSIDで使用する動作モードを表示します。

使用チャネル：

セカンダリSSIDで使用するチャネルを表示します。

ネットワーク名（SSID）：

セカンダリSSIDのネットワーク名（SSID）を表示します。

MACアドレス（無線）：

無線のMACアドレスを表示します。

【状態表示】

本商品の状態を表示します。

動作モード：

現在の動作モードを表示します。

IPアドレス/ネットマスク：

本商品が使用するLAN側のIPアドレス／ネットマスクを表示します。

【最新状態に更新】

表示を最新状態にしたいときにクリックします。

4

無線LAN端末（子機）を接続する

4

- | | | |
|-----|-----------------------|------|
| 4-1 | 無線LAN端末（子機）からの通信を確立する | 4-2 |
| 4-2 | ゲーム機などを接続する | 4-31 |

無線LAN端末（子機）から本商品に無線LAN接続するには、以下のような手順で行います。なお、（※1）～（※8）については、P4-5を参照してください。

Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合

※Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合は、P4-4へお進みください。

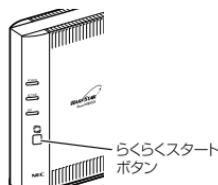
WL300NE/WL300NC/WL300NC-G/WL300NU-G/WL130NC/
WL54SC/WL54SC2/WL54GC/WL54AG/WL54SU/WL54SU2/
WL54GU/WL54TU/WL54SE/WL54SE2/WL54TE

（※1）（※2）

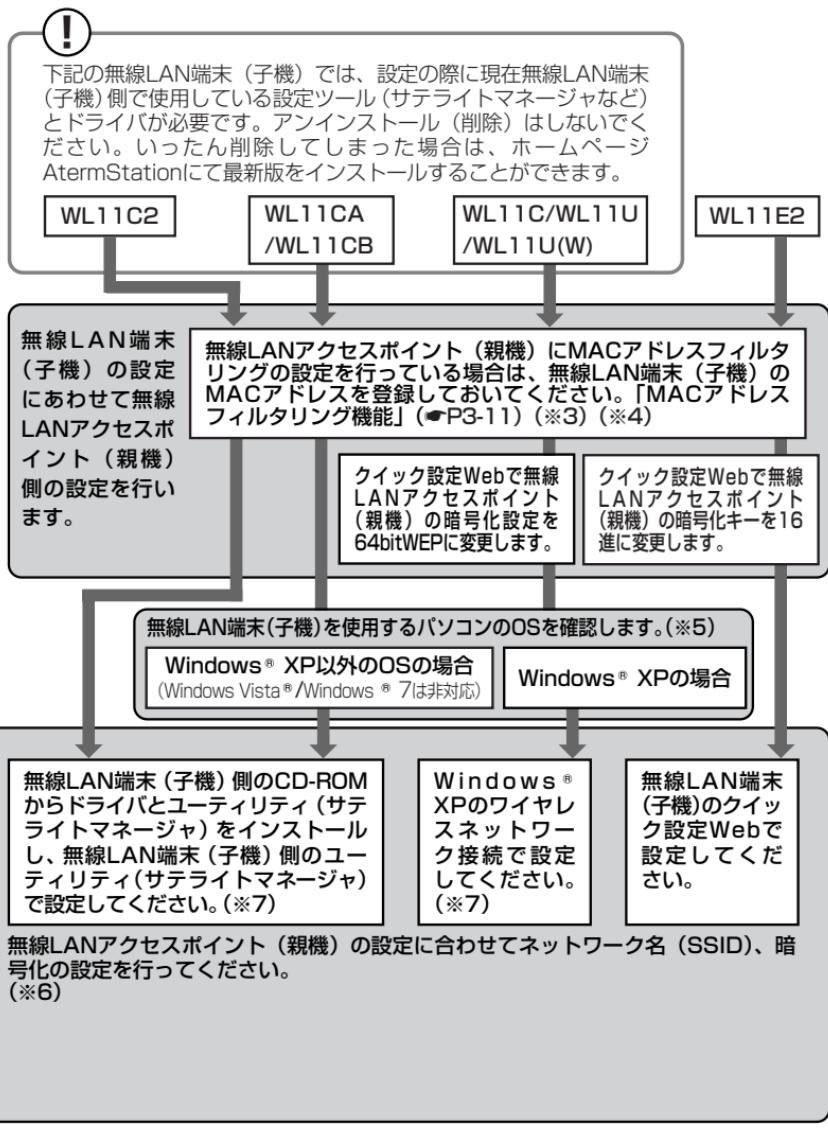
設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

らくらく無線スタートで設定してください。

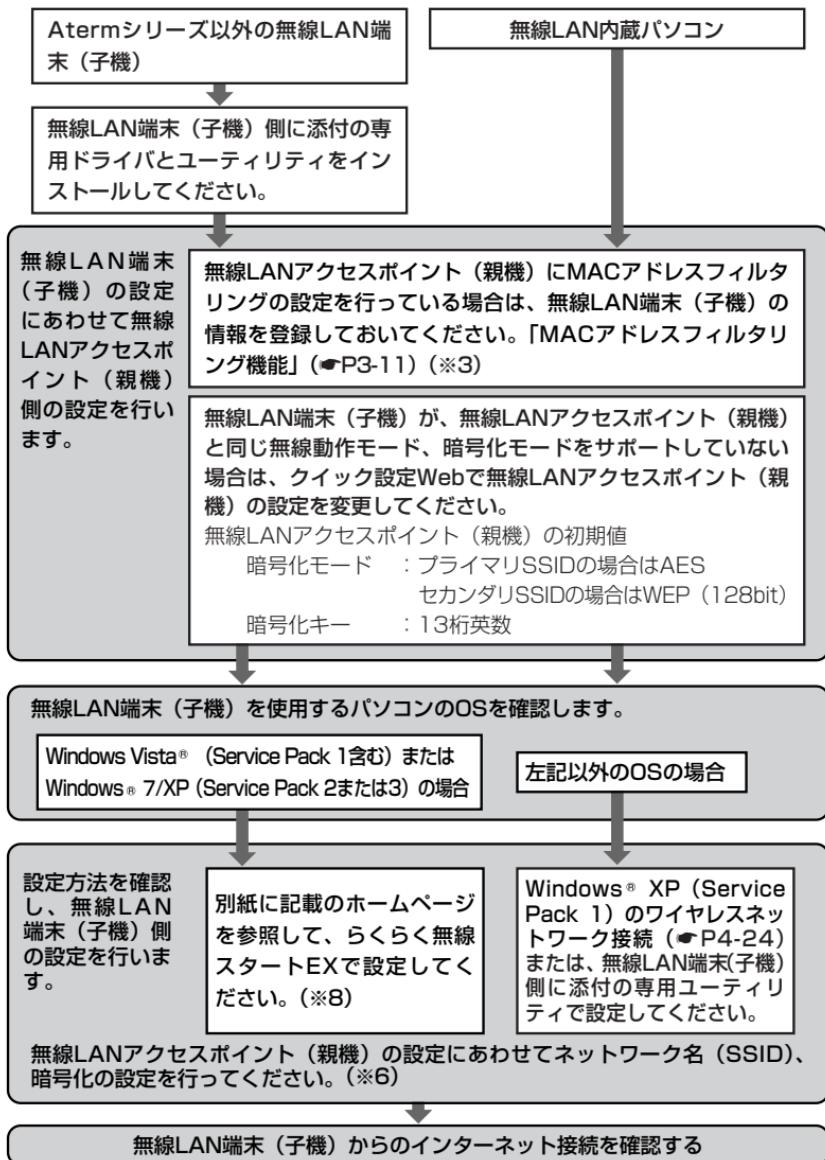
本商品前面のらくらくスタートボタンを押して設定します。設定方法など詳細については、無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書を参照してください。



無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する



Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）



- ※1 WL54GC/WL54GUは、IEEE802.11gおよびIEEE802.11bでのみ本商品に接続できます。
- ※2 WL130NC/WL300NC-G/WL300NU-Gは、IEEE802.11nおよびIEEE802.11gおよびIEEE802.11bでのみ本商品に接続できます。
- ※3 すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
- ※4 WL300NE/WL54SE/WL54TE、WL11E2（ETHERNETボックス）の場合はWL300NE/WL54SE/WL54TE、WL11E2（ETHERNETボックス）に接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスも登録してください。
- ※5 使用できるOSは接続する無線LAN端末（子機）によって異なります。
- ※6 無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある無線LAN設定ラベルに記載されています。
- ※7 Windows® XP（Service Pack 2または3）のパソコンでお使いの場合は、別紙に記載のホームページを参照して、らくらく無線スタートEXで設定することもできます。
- ※8 Windows Vista®（Service Pack 1含む）またはWindows® 7/XPのワイヤレスネットワーク接続で設定することもできます。（☞P4-6）

※本商品はIEEE802.11aモードにおいてW52帯、W53帯、W56帯に対応しています。従来のJ52帯を使用する無線LAN端末（子機）とは通信できません。以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

Atermシリーズ無線LAN端末（子機）のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に記載のホームページにてご確認ください。

		従来のIEEE802.11a (J52) 対応無線LAN端末（子機） WL54AG/WL54TU/WL54TE	WL54SC/WL54SU/WL54SE	WL300NE/WL300NC/WL54SC2/WL54SU2/WL54SE2
		J52	W52/W53	W52/W53/W56
本商品 WR8500N	W52 W53 W56	×	○	○

○：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）、W56帯（5470-5725MHz）を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。

○：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）を使用して、最大8チャネルから選択が可能です。

×：利用不可。



お知らせ

- 無線LANアクセスポイント（親機）に接続できる無線LAN端末（子機）は別紙に記載のホームページで確認してください。

無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵パソコンから本商品に無線接続する場合は、無線LAN内蔵パソコンの機種やOSによって設定方法は異なりますので、無線LAN内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。

ここでは、下記の場合を例に説明しています。

- Windows Vista® またはWindows® 7/XP のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合

①設定する

Windows Vista® (Service Pack 1含む) の場合 (☞P4-7)

Windows® 7の場合 (☞P4-13)

Windows® XP (Service Pack 2または3) の場合 (☞P4-20)

Windows® XP (Service Pack 1) の場合 (☞P4-24)

②無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには (☞P4-28)

- AirMac対応のパソコンから接続する場合 (☞P4-29)

※Windows Vista® (Service Pack 1含む) またはWindows® 7/XP (Service Pack 2または3) のパソコンをご使用の場合は、らくらく無線スタートEXで設定することができます。

詳細は、別紙に記載のホームページを参照してください。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。(Windows Vista® およびWindows® 7/XPの場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。) 設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線LANアクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定Webで変更します。(☞P3-17)
- IEEE802.11a (J52のみ) 対応無線LAN内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11aでの通信はご利用になれません。IEEE802.11g+b (+11n) での通信モード (2.4GHzモード) をご利用ください。
- 2005年5月以降のNEC製の個人向けパソコン（LaVie）では、あらかじめらくらく無線スタートEXが収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、らくらく無線スタートEXで設定してください。

Windows Vista® (Service Pack 1含む) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit, 128bit)、TKIP、AESです。
無線LAN内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合

→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合> (☞P4-8) へ

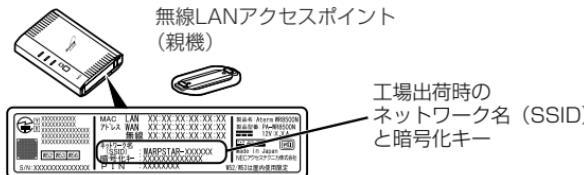


・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合

→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合> (☞P4-9) へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

→WEPにのみ対応している無線LAN端末（子機）から接続する場合は、セカンダリSSIDに接続してください。（セカンダリSSIDは、無線LANアクセスポイント（親機）底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）



※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「手動で設定する場合」 (☞P4-10) の手順2へ進みます。

＜無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①[ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする

③[OK] をクリックする

④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☞P4-7）から接続し直してください。

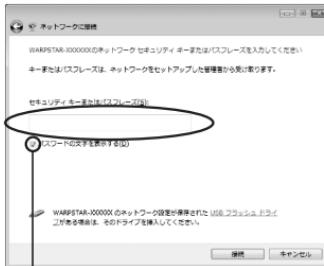


4 [セキュリティキーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-7）

なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」（☞P4-10）へ進みます。



※「パスワードの文字を確認する」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

5 [閉じる] をクリックする



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

＜無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

3

【接続】をクリックする



4

【接続します】をクリックする



5

【閉じる】をクリックする



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」(☞P4-28) で確認してください。

4

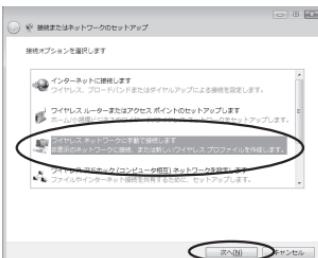
接続する
無線LAN端末
(子機)を

●手動で設定する場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) ー [ネットワーク] ー [ネットワークと共有センター] ー [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] ー [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

- 2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



- 3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-7）

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

- ①[ネットワーク名] で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を入力する

- ②[セキュリティの種類] で [WPA-パーソナル] を選択する

- ③[暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

- ④[セキュリティキーまたはパスフレーズ] に無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

※パスフレーズ文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8~63桁の場合】英数記号 (0~9, a~z, A~Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	ˋ	-
\$	(.	:	>]	{	}

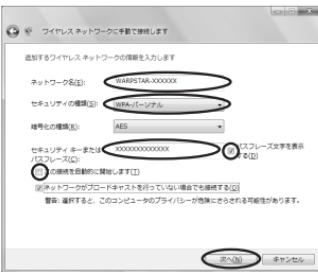
※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数 (0~9, a~f, A~F)

- ⑤[この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

- ⑥無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる

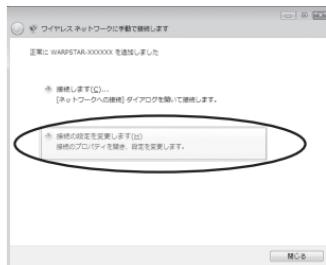
- ⑦[次へ] をクリックする



<暗号化モードでWEPを使用する場合>

- ① [ネットワーク名] で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティキーまたはパスフレーズ] に無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
- ASCII文字の場合：
英数字5文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
英数字13文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
- 16進数の場合：
0~9・A~Fで10文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
0~9・A~Fで26文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤ 無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする

【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] – [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID)を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

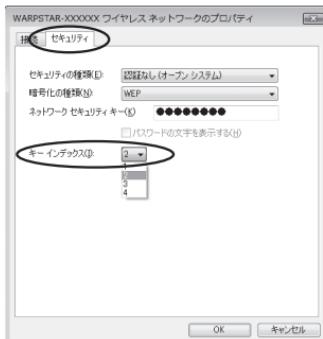
上記の手順が完了したら、P4-10の手順1から接続し直してください。

(次ページに続く)

5

【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、
【キーインデックス】で無線LANアクセ
スポイント（親機）に設定したキー番号
を選択します。



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

6

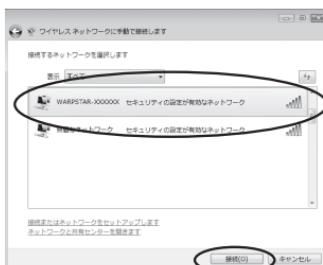
【OK】をクリックする

7

【接続します】をクリックする

8

無線LANアクセスポイント（親機）
のネットワーク名（SSID）を選択
し、【接続】をクリックする



9

【閉じる】をクリックする



以上で無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」(P4-28)で確認してください。



Windows® 7の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AESです。
無線LAN内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

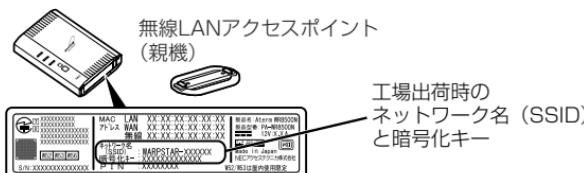
※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」など）
 - <無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合> (☞P4-14) へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
 - <無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合> (☞P4-15) へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

→WEPにのみ対応している無線LAN端末（子機）から接続する場合は、セカンダリSSIDに接続してください。（セカンダリSSIDは、無線LANアクセスポイント（親機）底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）



※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手動で設定する場合」(☞P4-16) の手順2へ進みます。

(次ページに続く)

<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>

- 3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ①[ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③[はい] をクリックする
- ④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (☞P4-13) から接続し直してください。



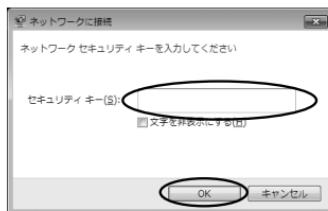
5

【セキュリティキー】に暗号化キーを入力して、【OK】をクリックする

※ 工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-13）

なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※ 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、【キャンセル】をクリックして、「手動で設定する場合」（☞P4-16）へ進みます。



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

＜無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3

接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする



4

接続する無線LAN端末（子機）を

4

[接続] をクリックする



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」(☞P4-28) で確認してください。

●手動で設定する場合

1

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする
 ※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [ネットワークに接続] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（P4-13）

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]または[WPA2-パーソナル]を選択する

③[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する

④[セキュリティキー]に無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。
なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。（半角で入力します。）

【8~63桁の場合】英数記号（0~9、a~z、A~Z、下記の記号）

!	%)	-	:	@	ハ	।
"	&	*	.	<	[_]
#	'	+	/	=	\	、	-
\$	(,	:	>]	{	}

※「¥」（パックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数（0~9、a~f、A~F）

⑤[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す

⑥無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる

⑦[次へ]をクリックする

〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する

③[セキュリティキー]に無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII文字の場合：

英数字5文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

英数字16文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・ 16進数の場合：

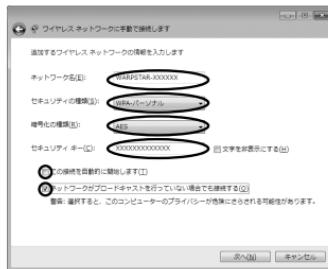
0~9・A~Fで10文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

0~9・A~Fで26文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す



4

接続する無線LAN端末（子機）を

⑤無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる

⑥[OK] をクリックする

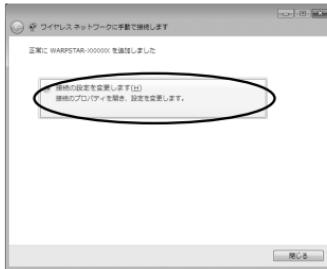
4 [接続の設定を変更します] をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ①[ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ②接続するネットワーク名（SSID）をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③[はい] をクリックする
- ④[ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

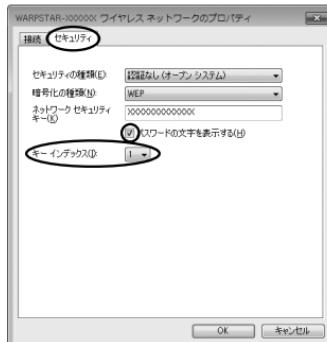
上記の手順が完了したら、P4-16の手順1から接続し直してください。



5 [セキュリティ] タブをクリックして設定内容を確認する

※[パスワードの文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、[キーインデックス] で無線LANアクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

6
7
8

[OK] をクリックする

[閉じる] をクリックする

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続] をクリックする



以上で無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」(☞P4-28) で確認してください。

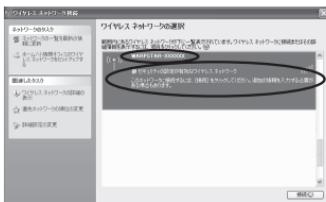
4

接続する
無線LAN端末
(子機)を

Windows® XP (Service Pack 2または3) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit)、TKIP、AESです。無線LAN内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。なお下記は、Windows® XP (Service Pack 3) の画面を例に説明しています。

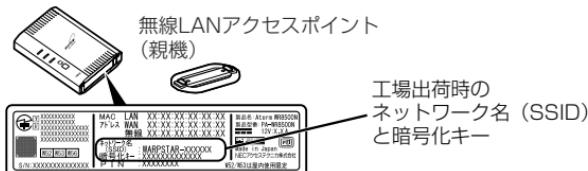
- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする
- 2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>
(☞P4-21) へ
- ・「セキュリティで保護されてないネットワーク」と表示されている場合
→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>
(☞P4-21) へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

→WEPにのみ対応している無線LAN端末（子機）から接続する場合は、セカンダリSSIDに接続してください。（セカンダリSSIDは、無線LANアクセスポイント（親機）底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）



※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[詳細設定の変更]をクリックして、「手動で設定する場合」(☞P4-22) の手順3へ進みます。

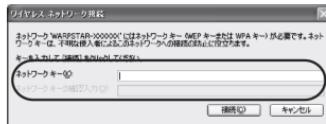
それでも接続できない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。(☞P3-9) ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>

3 [接続] をクリックする

4 [ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする
※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-20）

※無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、[キャンセル]をクリックして、「手動で設定する場合」（☞P4-22）へ進みます。



5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する



➡ 無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

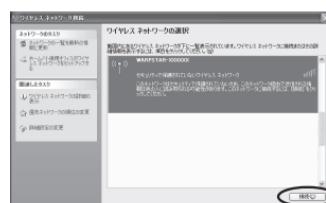
4

接続する無線LAN端末（子機）を

<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>

3 [接続] をクリックする

4 次の画面が表示された場合は、[接続] をクリックする



5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

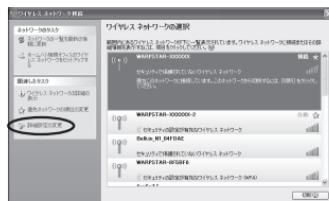


➡ 無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

●手動で設定する場合

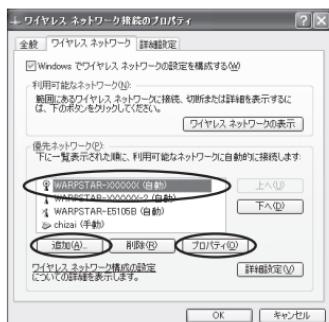
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

2 [詳細設定の変更]をクリックする



3 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、[プロパティ]をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、[追加]をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-20）

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する

②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

暗号化キーは半角で、8~63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。



※画面は、暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。（半角で入力します。）

【8~63桁の場合】

英数記号 (0~9, a~z, A~Z, 下記の記号)

!	%)	-	:	@	^	
*	&	*	.	<	[-	}
#	.	+	/	=	\	‘	-
\$	(.	:	>)		

※「|」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】

16進数 (0~9, a~f, A~F)

- ④無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、「このネットワークがブロードキャストをしていない場合でも接続する」のチェックを入れる

※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

- ⑤【OK】をクリックする

〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ①【ネットワーク認証】で【オープンシステム】を選択する

- ②【データの暗号化】で【WEP】を選択する

- ③【キーは自動的に提供される】のチェックを外す

- ④【ネットワークキー】を入力し、同じものを【ネットワークキーの確認入力】に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII文字の場合：

英数字5文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

英数字16文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・ 16進数の場合：

0~9・A~Fで10文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

0~9・A~Fで26文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

0~9・A~Fで32文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

- ⑤無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

- ⑥無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、「このネットワークがブロードキャストをしていない場合でも接続する」のチェックを入れる

※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

- ⑦【OK】をクリックする

- 【OK】をクリックする

5

無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」(☞P4-28) で確認してください。

4

接続する
無線LAN端末
(子機)を

Windows® XP (Service Pack 1) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit) です。(TKIP、AESはご利用になれません。)

なお、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が設定されている場合（☞P3-9）は、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

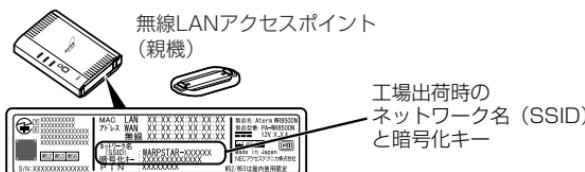
※ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）は、本商品独自の機能です。Aterm以外の無線LAN端末（子機）では、接続できない場合があります。

無線LAN内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする
- 2 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する
 - ・「このワイヤレス ネットワークではネットワークキー（WEP）の使用が必要です。」と表示されている場合
→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☞P4-25）へ
 - ・「このワイヤレスネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示されている場合
→<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☞P4-25）へ

※Windows® XP (Service Pack 1) は、WEPIにのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）はセカンダリSSID*を選択してください。

* 工場出荷時のセカンダリSSIDは、無線LANアクセスポイント（親機）底面に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は128bitWEPです。）



※接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[詳細設定] をクリックして「手動で設定する場合」（☞P4-26）の手順3へ進みます。

それでも接続できない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。（☞P3-9）ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してください。

<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>

3

[ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする

※ [このネットワークで IEEE802.11x を有効にする] のチェック（□）は必ず外してください。

※ 工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-24）

※ 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の2~4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」（☞P4-26）へ進みます。

4

パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

<無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>

3

[セキュリティで保護されていないくとも、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する] にチェックを入れる

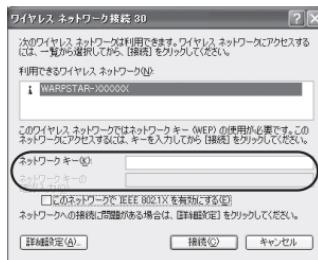
4

[接続] をクリックする

5

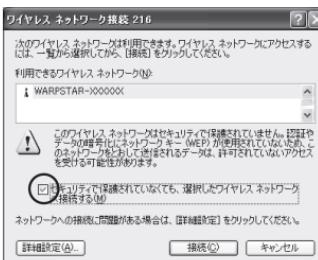
パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。



4

接続する無線LAN端末（子機）を



●手動で設定する場合

1

パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

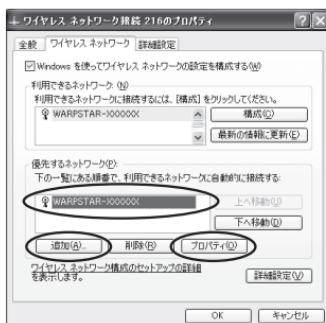
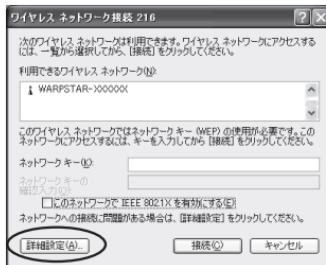
2

[詳細設定]をクリックする

3

[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、[プロパティ]をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、[追加]をクリックする



4

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-24）

① [データの暗号化] にチェックする

画面に [ネットワークアソシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する

② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す

③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII文字の場合：

英数字5文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

英数字16文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

・ 16進数の場合：

0～9・A～Fで10文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで26文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで32文字：

無線LANアクセスポイント（親機）に152bitWEPを設定している場合

④ 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑤ [OK] をクリックする



無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☞P4-28）で確認してください。

無線LANアクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1

【スタート】(Windows®のロゴボタン) - 【ネットワーク】 - 【ネットワークと共有センター】をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして【ネットワーク】をクリックする方法もあります。

※Windows® 7 の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、【ネットワークと共有センターを開く】をクリックします。

※Windows® XPの場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2

【状態の表示】をクリックする

※Windows® 7 の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。

※Windows® XPの場合は、【状態】をクリックし、【全般】タブをクリックします。



3

無線設定が正しく行われていることを確認する

・【状態】が「有効」になっていること
(Windows® XPの場合は、【接続】になっていること)

・【速度】が表示されていること
(表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。)



※画面はWindows Vista® の場合の例です。

4

【閉じる】をクリックする

AirMac対応のパソコンから接続する場合

画面表示はMac OSのバージョンなどにより、変わることがあります。

ここではMac OS X (v10.4 Tiger) の場合を例に説明しています。

1 アップルメニューの【システム環境設定】 - 【ネットワーク】アイコンをクリックする

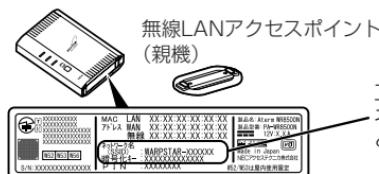
2 [表示] を [AirMac] にして、[AirMac] タブをクリックする

3 [デフォルトの接続先] を [優先するネットワーク] にする

4  をクリックする

5 [ネットワーク名] の  をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。



4

接続する
無線LAN端末
(子機)を

お知らせ

●ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が有効となっている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）は無効にしてください。

(次ページに続く)

6

[ワイヤレスセキュリティ] の  をクリックして [WEPパスワード] を選択し、[パスワード] で無線 LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー（無線 LANアクセスポイント（親機）底面に記載）を入力して、[OK] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P4-29）



7

[今すぐ適用] をクリックする

※他のネットワーク名がリストの一番上に表示されている場合は、無線 LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をリストの一番上にドラッグしてから、[今すぐ適用] をクリックしてください。



8

画面を閉じる

4-2 ゲーム機などを接続する

有線でゲーム機などを接続する

本商品のETHERNETポートに有線でゲーム機などを接続することができます。

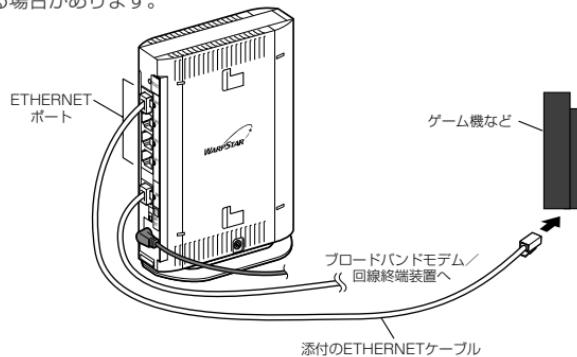
1 本商品の電源をいったん切る

2 ゲーム機などの電源を切る

3 本商品のETHERNETポートとゲーム機などをETHERNETケーブルで接続する

ETHERNETポートに力ちとと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロツクがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



4 本商品の電源を入れる

5 ゲーム機などの電源を入れる

6 手順3で接続した本商品のETHERNETポートのLANランプが緑点灯する

4

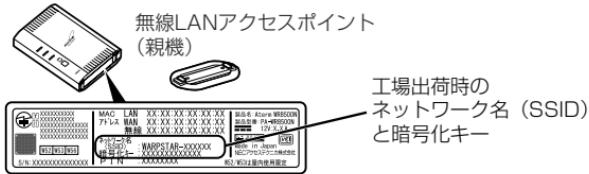
無線LAN端末
(子機)を接続する

無線でゲーム機などを接続する

本商品に無線LAN内蔵のゲーム機などを接続することができます。

無線LANアクセスポイント（親機）底面に記載されている無線設定をゲーム機などに設定してください。

設定方法については、ゲーム機などに添付の取扱説明書を参照してください。



- ゲーム機などに、ネットワーク名（SSID）および暗号化方式、暗号化キーの設定が必要です。
- ニンテンドーDS（ニンテンドーDS Lite含む）はWEPにのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）は、セカンダリSSID*を選択してください。暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）底面に記載されている暗号化キーを設定してください。
※セカンダリSSIDは、無線LANアクセスポイント（親機）底面に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は128bitWEPです。）なお、ニンテンドーDSiの場合は、AES、TKIPの暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書をご参照ください。
- らくらく無線スタートで設定することもできます。設定方法については、ゲーム機などに添付の取扱説明書を参照してください。

<無線接続できるゲーム機>

- ・Wii
- ・ニンテンドーDS（ニンテンドーDS Lite含む）
- ・ニンテンドーDSi（ニンテンドーDSi LL含む）
- ・「プレイステーション 3」
- ・PSP「プレイステーション・ポータブル」
- ・Xbox 360

5

お困りのときには

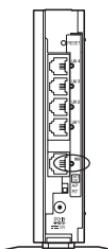
5-1	トラブルシューティング	5-2
5-2	初期化する	5-12

5

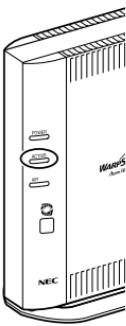
5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（☞P5-12）、初めから設定し直してみてください。ただし、初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。なお、初期化を行う前に現在の設定内容を保存しておくことができます。（☞P3-24）

設置に関するトラブル

症 状	原因と対策
電源を入れたとき 	電源が入っていません。 ● ACアダプタが外れている →ACアダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● ACアダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本商品に供給されている電源も切れてしまいます。 ● ACアダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタをコンセントから外して別紙に示すお問い合わせ先へお問い合わせください。 ● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。
WANランプが緑点灯しない 	● ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモ뎀または回線終端装置にETHERNETケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッとき音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ● ETHERNETケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNETケーブル（カテゴリ-5、カテゴリ-5eまたはカテゴリ-6）」であることを確認してください。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートを添付のETHERNETケーブルで接続してみる。 背面のWANランプが点灯する場合 無線LANアクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の故障が考えられます。 点灯しない場合 無線LANアクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線LANアクセスポイント（親機）の故障が考えられます。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

症 状	原因と対策
クリック設定Webが表示されない	<p>● プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorerの場合以下の設定を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の順にクリックする ② [LANにプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に本商品のIPアドレスを入れる ※本商品のIPアドレスは、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系（P5-10）を使用して、末尾を「211」にしたアドレスです。 例：P5-10で確認したアドレスが「192.168.0.3」の場合 →「192.168.0.211」と入力する <p>● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかつたり、通信が正常に行えない場合があります。（P1-6）</p> <p>● JavaScriptが無効に設定されている →WWWブラウザの設定でJavaScriptを有効に設定してください。（P1-11）</p> <p>● パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりもブロードバンドモdem／回線終端装置の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる b. 次の手順でIPアドレスを取り直す <p><Windows Vista®/Windows® 7の場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする ③ 「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを解放する ④ 「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを取り直す <p><Windows® XP/2000 Professionalの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを解放する ③ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IPアドレスを取り直す <p><Mac OS Xの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[内蔵Ethernet] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする ③ [内蔵Ethernet] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする
管理者パスワードを忘れてしまった	<p>● 本商品を初期化してください。この場合、設定した値はすべて工場出荷の状態に戻ってしまいます。（P5-12） ただし、クリック設定Webの「メンテナンス」 - 「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元することができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（P3-24）</p>

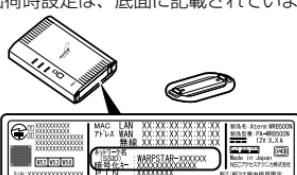
症 状	原因と対策
ACTIVEランプが橙点滅している 	<p>● 無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスが他の機器と競合しています。その場合は、下記の対処を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 競合している他の機器の電源を切る ② 無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタを抜き、10秒以上たつたら無線LANアクセスポイント（親機）にACアダプタを接続する ③ クイック設定Webを起動する（☞P3-3） ④ 「[基本設定]」 – 「[基本設定]」画面で、下記のように設定する <ul style="list-style-type: none"> ・[IPアドレス自動補正機能] : [使用する] のチェックを外す ・[IPアドレス/ネットマスク (ビット指定)] : 「IPアドレス」 <p>→①で確認したアドレスの末尾を「211」以外の値に変更して入力（XXXは「211」以外の任意の値） 例：P5-10で確認したアドレスが「192.168.1.3」の場合 「192.168.1.XXX」（XXXは「211」以外の任意の値）</p> <p>「ネットマスク (ビット指定)」 →「24」（「255.255.255.0」形式のネットマスクの場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 「[設定]」をクリックし、「[保存]」をクリックする ⑥ 競合している他の機器の電源を入れる
[設定] をクリックしても、状態が保存されていない	<p>● 「[保存]」をクリックしていない → 各設定項目において、「[設定]」をクリックすれば状態は反映されますが、左側フレーム内の「[保存]」をクリックしないと保存はされません。</p> 
本商品のバージョンを確認したい	クリック設定Webで確認することができます。 「情報」 – 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
本商品が正常に動作しないか、原因がわからない	<p>● 設定に誤りがある場合があります。 ※ どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☞P5-12）</p>

通信に関するトラブル

症 状	原因と対策
通信できない	<ul style="list-style-type: none">● ご使用の無線のネットワーク内で使用できる無線LAN端末(子機)は10台以下をお勧めします。● 本商品の設定が正しく行われていることを確認してください。 (→P3-2)

無線LANに関するトラブル

症 状	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● ETHERNETポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN設定」で設定し直してください。 ● Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「スキャン」をクリックして本商品を検索してください。ネットワーク名（SSID）で本商品を識別できます。 ● 本商品背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷時状態に戻す）をしてください。（☞P5-13）工場出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は本商品の底面に記載されています。（☞P5-7）
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● ETHERNETポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定Webの「無線LAN設定」 - 「無線LAN設定」で設定し直してください。（☞P3-16） ● 本商品背面のRESETスイッチによる初期化（工場出荷時状態に戻す）をしてください。（☞P5-13）工場出荷時の暗号化設定は本商品の底面に記載されています。（☞P5-7）
らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線LANアクセスポイント（親機）の電源がONになっていることを確認する → OFFになっていたらONにしてください。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）の無線LAN動作モード設定が、無線LAN端末（子機）の通信可能なモードに対応していることを確認してください。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しきすぎている → らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になつたらいったん離します。 ● ドライバが正しく入っていない → 詳細は、ご利用の無線LAN端末（子機）の取扱説明書をご覧ください。 ● らくらく無線スタートEXが正しくインストールされていない → 別紙に記載のホームページから最新の「らくらく無線スタートEX」をダウンロードしてインストールしてください。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている → 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。（☞P3-7） ● 無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → 無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（☞P3-11） ● 使用するネットワークにDHCPサーバとなる機器が存在しない → DHCPサーバとなる機器を設置してください。 ● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。

症 状	原因と対策
らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンに設定された固定IPアドレスが無線LANアクセスポイント(親機)のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 (☞P1-8) ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、らくらく無線スタート対応のユーティリティをインストールしてください。 ●無線LAN端末(子機)のほかにネットワークデバイス(ETHERNETポートなど)が動作している →ETHERNETインターフェースを搭載したパソコンの場合LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらく無線スタートで設定を行ってください。 ●らくらく無線スタートEXの場合、無線LAN端末(子機)専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線LAN端末(子機)専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●無線LANアクセスポイント(親機)と無線LAN端末(子機)で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →無線LANアクセスポイント(親機)に無線LAN端末(子機)で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。 AESまたは128bitWEPに対応していない無線LAN端末(子機)を利用する場合無線LANアクセスポイント(親機)の設定を変更する必要があります。
本商品に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品の電源が入っているか、確認してください。 ●本商品との距離が離れていないか、確認してください。 ●無線LAN端末(子機)のランプのつき方を確認してください。 ●ネットワーク名(SSID)があつてあるか確認してください。 ●本商品に合わせて設定してください。 ※本商品の出荷時設定は、底面に記載されています。  <ul style="list-style-type: none"> ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 ●暗号化キーの設定が無線LANアクセスポイント(親機)と無線LAN端末(子機)とで一致しているかを確認してください。 (☞P3-7) ●暗号化設定(暗号化方式、強度、暗号化キー)があつてあることを確認してください。 暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 (例) 暗号強度 WEP64bit→40bit WEP128bit→104bit 暗号化キー Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 MacintoshのAirMacでは「パスワード」

症 状	原因と対策
本商品に接続できない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ●通信モードがあつてあるか、確認してください。 本商品との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※通信モードは、Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合、 サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名 (SSID)」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●お使いのパソコンにブロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける (アドレス : 192.168.0.*、TCPポート番号 : 23/53/75/80、 UDPポート番号 : 69/161) ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がきれる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。
本商品と無線LAN端末 (子機) 間の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、本商品や無線LAN端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
セカンダリSSIDが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ●IEEE802.11bに対応している無線LAN端末（子機）によっては、セカンダリSSIDをサーチできない場合があります。この場合、SSIDを直接設定することにより、接続可能となります。 例) 初期値の場合 プライマリSSID : WARPSTAR-xxxxxx (本商品底面ラベルに記載のネットワーク名 (SSID)) セカンダリSSID : WARPSTAR-xxxxxx-W (本商品底面ラベルに記載のネットワーク名 (SSID) の末尾に「-W」がついたもの)
無線状態が良好なのに、 通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●固定IPアドレスでお使いの場合は、本商品と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例：本商品が192.168.0.211のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X)
無線状態が良好なのに、 速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合は、サテライトマネージャ【プロパティ】 - 【状態】の「チャネル状況」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定Webで使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定Webを起動して「無線LAN設定」 - 「無線LAN設定」内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが2.4GHzモードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから4チャネル以上ずらすようにしてください。 ●本商品と無線LAN端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。

症 状	原因と対策
AVサーバなどのストリーミングをしていると 画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> ●無線状態が悪い（本商品との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 (☞P5-8) ●Atermシリーズの無線LAN端末（子機）の場合は、サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。 ●AVサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。

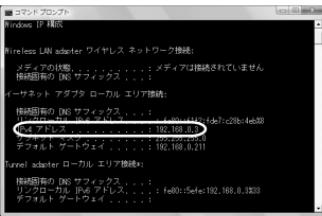
本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。

Windows Vista®/Windows® 7の場合

- 1 [スタート] (Windows®のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- 2 「ipconfig」と入力して、[Enter] キーを押す
- 3 表示されたIPv4アドレスを確認する (画面例では、「192.168.0.3」)

控え欄



```
Windows IP Configuration

无线网卡适配器: 192.168.0.3

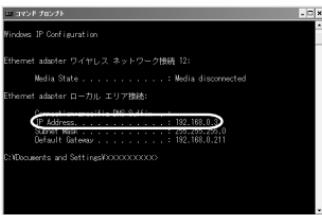
IP 地址: 192.168.0.3 (掩码: 255.255.255.0) [环回接口]
子网掩码: 255.255.255.0
默认网关: 192.168.0.211
```

※画面はWindows Vista® の場合の例です。

Windows® XP/2000 Professionalの場合

- 1 [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- 2 「ipconfig」と入力して、[Enter] キーを押す
- 3 表示されたIPアドレス (IP Address) を確認する (画面例では、「192.168.0.3」)

控え欄



```
Windows IP Configuration

以太网适配器: 192.168.0.3

IP 地址: 192.168.0.3 (掩码: 255.255.255.0) [环回接口]
子网掩码: 255.255.255.0
默认网关: 192.168.0.211
```

Mac OS Xの場合

- 1 アップルメニューの【システム環境設定】を開き、【ネットワーク】アイコンを選択する
- 2 【表示】を【内蔵Ethernet】にして、【TCP/IP】タブをクリックする
- 3 表示されたIPアドレスを確認する
(画面例では、「192.168.0.3」)

控え欄

画面は、Mac OS X (v10.4 Tiger) を例にしています。上記OS以外をご利用の場合は、ご利用のOSマニュアルをご覧ください。



5

お困りのときは

5-2 初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、本商品を初期化して初めてから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する (☞下記)

RESETスイッチで初期化する (☞P5-13)

初期化しても、購入後にお客さまがバージョンアップした本商品のファームウェアはそのままです。

クイック設定Webで初期化する

1 クイック設定Webを起動する (☞P3-3)

2 「メンテナンス」の【設定値の初期化】を選択する

3 【設定値の初期化】をクリックする



4 [OK] をクリックする

本商品が再起動します。



5 [OK] をクリックする



RESETスイッチで初期化する

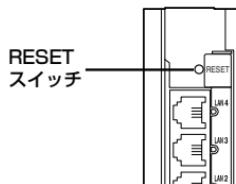
無線LANアクセスポイント（親機）のRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、背面にあります。

1 無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する

2

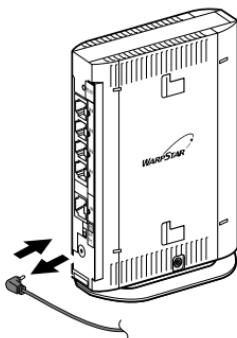
無線LANアクセスポイント（親機）の背面にあるRESETスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。



3

無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む



5

お困りのときは

● お願い

- 無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）に戻してください。

6

付録

6-1 製品仕様 6-2

6

WR8500N（親機）仕様

項目	諸元および機能		備考
WAN インターフェース	物理 インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×1ポート	
	インターフェース	ブロードバンド接続ポート 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インターフェース	物理 インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×4ポート	スイッチングHUB ×4ポート
	インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
無線LAN インターフェース	IEEE802.11n	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1~13ch [W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数56 MIMO (空間多重) 方式
		伝送速度 *1	2.4GHz帯 5.2GHz帯 (W52) 5.3GHz帯 (W53) 5.6GHz帯 (W56) [HT20] *2 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps (自動フォールバック) 2.4GHz帯, W52 [HT40] *2 300/270/243/216/162/108/81/54/ 27Mbps (自動フォールバック)
		周波数帯域/ チャネル	[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/搬送波数52
	IEEE802.11a	伝送速度 *1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
		周波数帯域/ チャネル	[W52] 5.2GHz帯 (5,150-5,250MHz) : 36/40/44/48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz帯 (5,250-5,350MHz) : 52/56/60/64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz帯 (5,470-5,725MHz) : 100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/搬送波数52

項目		諸元および機能		備考	
無線LAN インタ フェース	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1~13ch		
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式		
		伝送速度*1	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)		
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1~13ch		
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式/ 搬送波数52		
		伝送速度*1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
ヒューマ ンインタ フェース	アンテナ	送信3×受信3 (内蔵アンテナ)	アンテナ		
	セキュリティ	SSID、WEP (128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES) ※IEEE802.11nはWPA-PSK (AES) のみの対応			
	状態表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯		
		ACTIVE	ネット通信確立時点灯		
		AIR	2.4GHzモード時緑点灯、2.4GHzデータ送受信時緑点滅 5GHzモード時橙点灯、5GHzデータ送受信時橙点滅 レーダー波サーチ中赤点滅		
		WAN	リンク確立時点灯 データ送受信点滅		
		LAN1~4	リンク確立時点灯 データ送受信点滅		
スイッチ		らくらくスタートボタン×1 RESETスイッチ×1			
動作保証環境		温度0~40°C 湿度10~90%	結露しないこと		
外形寸法		約35 (W) ×128 (D) ×160 (H) mm	突起部除く		
電源		AC100V±10% 50/60Hz	ACアダプタ使用		
消費電力		13W (最大)			
質量 (本体のみ)		約0.4kg	ACアダプタを除く		
VCCI		VCCIクラスB			

*1： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

*2： ご利用環境によっては、HT40/HT20モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを使用するに設定しても、HT20で接続される場合があります。

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

